



2020年7月31日

各 位

上場会社名 株式会社トーエネック
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 大野 智彦
 (コード番号 1946)
 問合せ先責任者 執行役員 経理部長 平野 明人
 (TEL 052-219-1916)

2021年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想 並びに配当予想(中間・期末)に関するお知らせ

2020年5月18日に公表した「2020年3月期決算短信」において未定としておりました2021年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想並びに配当予想(中間・期末)について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間の業績予想 連結業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	104,000	5,100	4,600	3,000	160.51
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	102,867	5,472	5,006	4,357	233.15

個別業績予想数値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	94,500	4,500	4,100	2,700	144.46
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	93,716	4,526	4,153	3,842	205.60

(理由)

2021年3月期第2四半期の業績予想につきましては、期首からの手持工事が順調に進捗しており、連結・個別共に前年同期と比較して増収を見込んでおります。利益面につきましては、新型コロナウイルス感染症対策費や事業用資産の修繕費など一般管理費の増加により減益を見込んでおります。

なお、前期に年金制度の見直しに伴う特別利益(連結1,597百万円、個別1,588百万円)を計上していることから、四半期純利益の減益幅は連結・個別共に大きくなる見通しです。

2. 通期業績予想

連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	218,000	10,800	9,600	6,400	342.42
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	224,843	13,307	12,511	9,314	498.34

個別業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	197,000	9,400	8,300	5,700	304.97
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	203,392	11,143	10,223	7,904	422.89

(理由)

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化しており、未だ不確定要素が多いものの、以下のとおり想定しております。

電力会社向けの売上は堅調に推移することが見込まれますが、屋内線工事や空調管工事の受注環境が一定程度悪化すると想定し、製造業などの一般得意先向けの売上減少を見込んでおり、全体としては連結・個別共に前期と比較して減収・減益を予想しております。

なお、前期に年金制度の見直しに伴う特別利益(連結1,597百万円、個別1,588百万円)を計上していることから、当期純利益の減益幅は連結・個別共に大きくなる見通しです。

今後、得意先企業の設備投資計画の中止や先送りなどにより、想定を超える受注高の減少があった場合には、実際の業績は業績予想数値を大きく下回る可能性があります。

3. 配当予想

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	未定	未定	未定
今回修正予想	45円00銭	55円00銭	100円00銭
前期実績 (2020年3月期)	70円00銭	80円00銭	150円00銭

(理由)

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を最重要政策として位置付けており、将来にわたる事業展開のための内部留保の充実などを総合的に勘案し、株主の皆さまには、連結配当性向30%を目処とする配当を通じて業績に応じた利益還元を行うことを基本としております。

上記の方針に基づき、2021年3月期の配当予想につきましては、現時点での業績予想を踏まえ1株当たり中間配当45円、期末配当55円とし、年間の配当予想は1株当たり100円と見込んでおります。

(注) 本資料に記載している予想数値は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上